

市立小中義務教育学校学習者用コンピュータ機器 (GIGA 端末)の更新整備について

1. 端末更新の背景と目的

市では、国の GIGA スクール構想に伴い、1人1台端末を令和3年度に導入したが、現行端末から5年が経過し、ハードウェアの耐用年数超過やバッテリーの劣化などのリスクが顕在化している。

これらを放置することは、授業中の不具合による「学習機会の損失」を招き、教育現場の混乱をもたらす恐れがあることから、教育活動の質の担保として、最新の ChromeOS を搭載した機器への更新により、セキュリティの強化と安定した動作環境を確保する。

2. 現在の整備内容(令和3年度導入)

- ・機種名:Acer Chromebook R752-G2(コンバーチブル型)
- ・液晶サイズ:11.6 インチ
- ・OS:ChromeOS
- ・整備台数:3,251 台
(内訳:児童・生徒 3,037 台+教職員166台+予備48台)

3. 今回の整備内容

- ・機種名:ASUS Chromebook CZ11 Flip(コンバーチブル型)
- ・液晶サイズ:11.6 インチ(保護フィルム付)
- ・OS:ChromeOS
- ・整備台数:2,888 台(令和7年10月1日現在)
(内訳:児童・生徒 2,400 台+教職員 238 台+予備 250 台)

4. 機器の調達方法

事務負担の軽減をはじめ、単独調達では困難な納入の確実性、スケールメリットを生かしたランニングコストの低減等を図るため、令和8年2月、茨城県教育 ICT 推進協議会が実施する公募型プロポーザル審査により、県内一括で技術的妥当性を審査し、購入による調達業者を選定。



(1)調達業者名
リコージャパン株式会社

(2)ChromeOS を使用する共同調達自治体一覧
茨城県、古河市、石岡市、龍ケ崎市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、
かすみがうら市、城里町、大子町の10団体

(3)その他の自治体
WindowsOS 端末又は i PadOS端末を調達

5. 総事業費と財政計画

(1)PC 機器購入費 50,050 円×2,888 台=144,544,400 円(税込)
令和8年度当初予算額 55,000 円×2,888 台=158,840,000 円(税込)

(2)キッティング費 3,300 円×2,888 台=9,530,400 円(税込)
令和8年度当初予算額 5,500 円×2,888 台=15,884,000 円(税込)
※キッティング(OS、ネットワーク、セキュリティなどの基本設定)においては、
既存設定の確実な引継ぎと拡張機能の動作確認作業を盛り込むことで、端
末入替え直後から教員・児童生徒が迷うことなく、従来の学習環境を継続で
きる体制を整える。

(3)財政措置 国庫補助金「公立学校情報機器整備事業費補助金」を活用
(補助率 2/3、児童・生徒分+予備分のみ適用)
・申請日 令和8年2月27日
・申請額 55,000 円×2,650 台(R8 児童生徒見込数+予備)×
2/3=97,166,000 円

6. 更新整備の経過及び今後のスケジュール(案)

【令和7年度】

令和8年1月～2月 茨城県による公募型プロポーザルの公告及び審査、
調達業者の選定
令和8年2月26日 茨城県教育ICT推進協議会と本市による書面同意を締結

【令和8年度】

令和8年4月28日 リコージャパン株式会社との購入仮契約(随意契約)の締結
【仮契約額】

・PC 機器購入費 144,544,400 円(税込)
・キッティング費 9,530,400 円(税込)
合計 154,074,800 円(税込)

令和8年5月14日 市議会文教厚生委員会へ説明

令和8年5月26日 市議会全員協議会へ説明

令和8年6月 「財産の取得」について令和8年第2回定例会に議案を上程

令和8年12月 市立全学校へ納品開始